

# Story

## わたし物語

地域と歩む、安全安心なまちづくり

### 六名学区防災防犯協会連合会

◆むつながつくぼうさいぼうはんきょうかいれんごうかい

令和7年安全安心なまちづくり関係功労者表彰内閣総理大臣賞受賞

地域住民の安全に長年貢献し、昨年11月に、令和7年安全安心なまちづくり関係功労者表彰内閣総理大臣賞を受賞したのは、岡崎市六名学区の住民で構成されている六名学区防災防犯協会連合会の皆さんです。

同会は昭和23年に発足。活動が本格化したきっかけは、会長の長坂秀志<sup>ひでし</sup>さんが地域の防犯環境に課題を感じたことです。当初は、総代として町内会で呼びかけていた自主防犯活動でしたが、長坂さんが六名学区総代会長になったことで学区全域での取り組みへと広がっていきました。

同会が特に力を入れているのは子どもの安全確保です。通学路での見守り活動、防犯カメラ・ガードレールの設置、小学生対象の防犯講話などを行っています。さらに、同会独自の取り組みとして、空き巣対策の補助錠や詐欺被害防止機能付き電話機の購入費補助制度を運用し、身近な防犯対策に注力しています。これにより、愛知県全体で詐欺被害が頻発する中、六名学区では令和6年に固定電話に対する特殊詐欺認知件数ゼロという成果を挙げました。



▲防犯講話の様子



こうした取り組みの根底にあるのは、「安全があって初めて安心を得ることができる」という長坂さんの揺るぎない信念です。元々防犯の知識がなかったという長坂さんですが、「情報は待っていても来ない。自らが求めなければ」という思いで、誰よりも熱心に情報収集に努め、「学区内で1件でも被害が出れば、それは自分たち学区の課題」と捉え、再発防止に全力を尽くします。

しかし、活動を進めるうえで最も難しいのは、「住民のかたに、防犯対策を自分事として捉えてもらうこと」と話します。人は関心がなければ何事にも気づくことができません。だからこそ、身近に起こりうる事例を具体的に挙げながら啓発し、住民が対策につながる行動をとるための「きっかけ」を提供すべく学区の住民に防犯活動と呼びかけ続けています。「気づききっかけは提供できるが、最終的に行動するのは住民自身」。この長坂さんの言葉には、一人ひとりの主体的な行動を促す強いメッセージが込められています。

長年の活動は、地域住民の意識を着実に変えつつあります。六名学区防災防犯協会連合会は、これからも地域住民とともに、より安全で安心なまちづくりを推進していくでしょう。

Mayor's Column

### 岡崎再生

「岡崎に生まれて  
本当に良かった！」  
そう思えるまちづくりを

岡崎市長 内田 康宏

## お互いを思いやる安全運転を

動画は  
こちらから



令和8年4月1日(水)から、自転車の違反に交通反則通告制度、いわゆる「青切符」が適用されるようになります。自転車も、自動車やバイクと同じ「車両」ということを改めて認識し、これまで以上に交通ルールを守った運転が求められます。主な違反行為や交通ルールなど、この制度について紹介した動画を作成しましたので、ぜひご覧ください。

自転車に乗る際はヘルメットの着用に努めることとされていますが、万が一の事故からみなさまの大切な命を守るため、ぜひ着用をお願いします。本市では、児童・生徒と高齢者を対象にヘルメット購入費の一部を補助していますので、この機会にぜひご活用ください。

自転車は通勤や通学をはじめ、私たちの身近な移動手段です。手軽で便利な乗り物であるからこそ、交通ルールを守り、安全に利用することが重要です。自転車に乗る一人ひとりが交通ルールとマナーを再確認し、**お互いを思いやる運転を心がけましょう。**市民のみならず、安心・安全に暮らせる岡崎市を共に築いてまいりたいと思います。

※詳細は、12ページをご覧ください。